

事務事業名 ヤングテレフォン相談事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：674

施 策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-02-545
基本事業：	05	青少年の悩み相談の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	青少年の相談窓口を知っている児童・生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度		平成03年度		新規・継続		継続		会計区分		実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
青少年（保護者）				【電話受付】 毎週月～土曜日の午前10時から午後6時まで 電話により2人体制で相談受付（匿名可）。 【メール受付】 メールによる相談受付（市ホームページから投稿） 【周知活動】 市公式HP、市広報、PRカード（名刺サイズ）、 チラシによる周知。 【連携活動】 内容により、関係機関につないでいる。							
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
青少年自身や保護者の悩みに、電話やメールで応じ、青少年の健全育成や非行防止を図ることを目的とする。											
4．成果（簡易評価は未記入）											
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標	
相談件数（相談実数）			件	609	478	500	500			500	
他機関への取り次ぎ件数			件	25	27	20	20			20	
5．コスト											
事業費			計	千円	3,971	4,389	4,904	5,558			
			国	千円	0	0	0	0			
			県	千円	0	0	0	0			
			地方債	千円	0	0	0	0			
			その他	千円	0	0	0	0			
			一般	千円	3,971	4,389	4,904	5,558			
正職員人工数			人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費			千円	773	782	802					
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)			千円	4,744	5,171	5,706	5,558				
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）											
○あがっている			相談件数は、リピーターの相談件数が減少したため、前年度比で131件の減となった。								
○どちらかといえばあがっている											
●あがっていない（停滞・低下）											
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）											
対象動向	維持	類似事業	あり	県の相談窓口（子どもホットライン24）に比較すると、電話はかかりやすいが、青少年からの相談件数は横ばいの状況にある。							
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし								
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし								
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし								
成果向上余地	中程度										
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了					
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）											
より効果的な事業となるよう引き続き検討を行う。											
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						■備考・特記事項 or 進行管理欄					
青少年自身や保護者の悩みの相談を電話で応じ、傾聴しながら、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的として、平成3年度に開設。						平成27年4月1日より、メールでの相談受付開始。 平成27年4月1日より、開設日を月・火・木・金の週4日から、月～土の週6日へ変更。 時間帯は変わらず、10時から18時まで。					